

○江戸川区児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例

令和二年三月三十日条例第五号

江戸川区児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例

(趣旨)

第一条 この条例は、児童福祉法（昭和二十二年法律第百六十四号。以下「法」という。）第四十五条第一項の規定に基づき、江戸川区における児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定めるものとする。

(定義)

第二条 この条例で使用する用語の意義は、法で使用する用語の例による。

(児童福祉施設の設備及び運営に関する基準)

第三条 法第四十五条第一項の規定による条例で定める基準は、この条例に特別の定めがあるもののほか、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準（昭和二十三年厚生省令第六十三号。以下「省令」という。）の定めるところによる。

(保育所の設備の基準)

第四条 乳児又は満二歳に満たない幼児を入所させる保育所の乳児室又はほふく室の面積は、乳児又は満二歳に満たない幼児一人につき三・三平方メートル以上であることとする。

2 満二歳以上の幼児を入所させる保育所は、保育室又は遊戯室、屋外遊戯場（保育所の付近にある屋外遊戯場に代わるべき場所を含む。）、医務室、調理室及び便所を設けることとする。

(保育所の職員)

第五条 保育士の員数は、保育所の開所時間を通じて常時二人を下回ってはならない。

(保育所の開所時間)

第六条 保育所の開所時間は、原則として一日につき十一時間とする。

(委任)

第七条 この条例の施行について必要な事項は、江戸川区長が別に定める。

付 則

(施行期日)

1 この条例は、令和二年四月一日から施行する。

(設備に関する経過措置)

2 この条例の施行の際、現に存する設備であって、第四条及び省令第三十二条に規定する基準に適合しないものについては、その適合しない部分に限り、当該基準を適用しない。

(保育所の職員配置に係る特例)

- 3 省令第三十三条第二項に規定する保育士の数の算定について、乳児四人以上を入所させる保育所にあつては、当分の間、当該保育所に勤務する保健師又は看護師を、一人に限り、保育士とみなすことができる。
- 4 保育の需要に応ずるに足りる保育所、認定こども園（子ども・子育て支援法（平成二十四年法律第六十五号）第二十七条第一項の確認を受けたものに限る。）又は家庭的保育事業等が不足していることに鑑み、省令第三十三条第二項本文の規定により算定した保育士の数が一人となる場合には、第五条の規定は、当分の間適用しないことができる。この場合においては、保育士一人に加え、東京都知事が保育士と同等の知識及び経験を有すると認める者を一人以上置かなければならない。
- 5 前項の事情に鑑み、省令第三十三条第二項に規定する基準の適用については、当分の間、幼稚園教諭若しくは小学校教諭又は養護教諭の普通免許状（教育職員免許法（昭和二十四年法律第四百四十七号）第四条第二項に規定する普通免許状をいう。）を有する者を、保育士とみなすことができる。
- 6 付則第四項の事情に鑑み、省令第三十三条第二項に規定する基準の適用については、当分の間、保育所が八時間を超えて開所する日において開所時間を通じて必要となる保育士の総数が、当該保育所に係る利用定員の総数に応じて置かなければならない保育士の数を超えるときは、その超える数の範囲において、当該保育所が雇用した者であつて、東京都知事が保育士と同等の知識及び経験を有すると認める者を、保育士とみなすことができる。
- 7 前二項の規定を適用するときは、保育士（法第十八条の十八第一項の登録を受けた者をいい、付則第三項又は前二項の規定により保育士とみなされる者を除く。）を、省令第三十三条第二項本文の規定により算定した保育士の数の三分の二以上、置かなければならない。